

スポーツ認知・心理研究班

主 査 村井 剛

研 究 員 高村直成

客員研究員 永嶋秀敏, 豊田裕浩, 辻内智樹, 伴 元裕, 関沢計人

1. 研究概要

本研究班では、スポーツ実施時の視野、注視点に関するデータ分析や、勝利と選手成長の両立を実現するコーチに共通する指導要素の観察調査、アスリートのパフォーマンス向上やコンディショニング向上に関する対応方策の分析等を各研究員にて実施している。

ウェアラブルセンサーを活用したスポーツ時やパフォーマンス前の心身の情報の計測や、テキストマイニングの手法を利用した関連性の調査、競技パフォーマンスとウエイトトレーニングの意識の関係性についても調査・測定を実施した。

2. 研究活動報告

日 時：2025年 5 月

場 所：多摩キャンパス第一体育館

内 容：前方に押すスポーツパフォーマンスと、特異性の法則に基づいたウエイトトレーニングの意識の関係性について、両足・片足での筋力発揮時の最大挙上重量の測定を実施

論文名：NMN 摂取が大学生アスリートの心身コンディショニングに及ぼす影響

掲載誌：保健体育研究所紀要 第43号 pp. 65-76

発行日：2025年 7 月15日

著 者：村井 剛, 辻内智樹

日 時：2025年 8 月 1 日

場 所：中央大学戸田ボート部合宿所

内 容：NMN によるコンディショニングに及ぼす影響（バイオデータと主観的評価の相関）
調査に関する被験者フィードバック

日 時：2025年 9 月

場 所：多摩キャンパス第一体育館

内 容：前方に押すスポーツパフォーマンスと、特異性の法則に基づいたウエイトトレーニングの意識の関係性について、両足・片足での筋力発揮時の最大挙上重量の測定を実施

日 時：2025年 9 月23日

場 所：茗荷谷キャンパス

内 容：スポーツ感情評価システム機器に関する調査打ち合わせ

日 時：2025年11月

場 所：多摩キャンパス第一体育館

内 容：前方に押すスポーツパフォーマンスと、特異性の法則に基づいたウェイトトレーニングの意識の関係性について、両足・片足での筋力発揮時の最大挙上重量の測定を実施

日 時：2025年12月

場 所：茗荷谷キャンパス

内 容：スポーツ感情評価システム機器に関する調査最終打ち合わせ

日 時：2026年 1 月12日～13日

場 所：長野県白馬村

内 容：スノースポーツ実施時の滑走状況別の感情状態に関する機器計測調査